



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディネット

コード番号 2370 URL <http://www.medinet-inc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 原 大輔

TEL 045-478-0041

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,417	△9.2	△1,008	—	△1,041	—	△635	—
25年9月期第3四半期	1,561	△5.8	△659	—	△731	—	△121	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △1,380百万円 (—%) 25年9月期第3四半期 1,031百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△7.23	—
25年9月期第3四半期	△1.55	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純損失につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	10,818	—	9,440	—	—	87.0
25年9月期	12,242	—	10,369	—	—	84.6

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 9,417百万円 25年9月期 10,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	△14.7	△1,430	—	△1,460	—	△1,060	—	△12.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成26年4月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年9月期の業績予想における1株当たり当期純損失については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	88,333,100 株	25年9月期	87,333,100 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	— 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	88,018,082 株	25年9月期3Q	78,515,652 株

(注)当社は平成26年4月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・決算補足説明資料は本日平成26年8月5日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

・当社は平成25年10月24日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成26年4月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成26年9月期の連結業績予想については、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. その他	8
(1) 役員の異動	8
(2) その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

現在、我が国においては、バイオテクノロジー及び先端医療に係る各種の推進政策が実施されており、なかでも再生医療の実用化を促す再生医療推進法（「再生医療を国民が迅速かつ安全に受けられるようにするための施策の総合的な推進に関する法律」）が平成25年4月に成立したこと、また、細胞加工業を認める「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び再生・細胞治療を実施するための再生医療等製品を規定した「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が平成25年11月に成立したことにより、当社グループを取り巻く事業環境が大きく変わろうとしています。両法は平成26年11月25日に施行されることとなっておりますが、特に「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」については、同法に関連する政省令が準備中となっております。また厚生労働省地方厚生局において制度説明会の開催が順次予定されている等、同法の施行に向けた各種措置が進行していることから、当社グループにおいても両法施行後の事業環境での事業を構築するべく着々と準備を進めております。そのような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）において当社グループは、現在の主力事業である免疫細胞療法総合支援サービスから細胞加工業へ事業転換を図るべく社内体制及び営業施策の再構築を行うとともに、当社グループが行っている研究開発の成果をもとに細胞医療製品の開発、製造、販売を実現するべく、新たな事業展開に向けた取り組みを強化しております。

売上高については、免疫細胞療法総合支援サービスの売上や受託研究売上等が前第3四半期連結累計期間に比べて減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,417,735千円（前年同期比143,954千円減、9.2%減）となりました。

研究開発活動については、当社グループの新たな事業である細胞医療製品の製造販売承認の獲得を目指した研究開発を加速しております。当第3四半期連結累計期間では、平成25年12月に、転移性腎細胞がんを対象とする細胞医療製品「AGS-003」を開発する米国Argos Therapeutics社との間でライセンス契約を締結し、日本国内での「AGS-003」の開発及び製造の独占的許諾を獲得し、それに伴い一時金を支出しております。この「AGS-003」の開発パイプライン獲得に係る研究開発費等により当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、前第3四半期連結累計期間に比べて115,347千円(29.1%)増加しております。なお、これまでの研究開発活動の成果の一環として、当第3四半期連結累計期間において以下の特許が成立しております。

- 「抗原提示細胞の活性化処理方法」
欧州11カ国、オーストラリア、日本に加えて米国を追加
- 「CTLと γ δ T細胞の同時誘導方法」
日本での特許が成立

新たな事業展開に向けた取り組みの中で既存事業に係る営業活動については一層の効率化を図っていることから、当第3四半期連結累計期間の販売費については、前第3四半期連結累計期間に比べて71,730千円(24.6%)減少しております。また、前述の平成25年11月に成立した2つの法律の施行に向けて、細胞加工業及び細胞医療製品事業の推進・展開を図るための戦略的投資等により、一般管理費については、前第3四半期連結累計期間に比べて211,103千円(29.1%)増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,667,865千円（前年同期比254,720千円増、18.0%増）となり、営業損失は1,008,201千円（前年同期は営業損失659,312千円）となりました。

その他、受取利息29,305千円、外貨建ての投資有価証券及び長期貸付金の円換算等による為替差損29,298千円、及び投資事業組合運用損24,805千円等の営業外損益により、当第3四半期連結累計期間の経常損失は1,041,241千円（前年同期は経常損失731,665千円）となりました。

また、保有する投資有価証券や出資金の評価を見直したことに伴う投資有価証券評価損7,100千円、出資金評価損19,388千円を計上した一方、投資有価証券売却益440,145千円が発生したこと等により、四半期純損失は635,931千円（前年同期は四半期純損失121,633千円）となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントの区分は従来単一セグメントとしておりましたが、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が成立したことを受け、従来事業の中核をなしていた免疫細胞療法総合支援サービスから細胞加工業への転換、及び細胞医療製品の開発といった新たな事業への展開を図ることの重要性が高まったことに伴い、第1四半期連結会計期間より「細胞加工業」及び「細胞医療製品事業」の2区分に変更しております。また、第1四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更したため、各報告セグメントの前年同期との比較は記載しておりません。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①細胞加工業

細胞加工業については、当面は、細胞加工業への移行を検討している免疫細胞療法総合支援サービス売上が収益の柱となっており、当第3四半期連結累計期間においては、既存契約医療機関に対するサービス売上の減少、及び技術開発投資の適正化や営業活動の効率化による営業費用の削減効果等により、売上高は1,415,528千円、セグメント利益は37,050千円となりました。

②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、当社グループで行っている研究開発の成果をもとに細胞医療製品の開発に向けた研究開発活動に取り組んでおり、日本国内においては、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同臨床研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探索しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の臨床研究にも注目しており、それらのパイプラインの獲得も視野に入れた活動を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、米国Argos Therapeutics社が開発を進めている転移性腎細胞がんを対象とする細胞医療製品「AGS-003」の日本国内における開発、製造権を獲得するための契約一時金による研究開発費が発生いたしました。当細胞医療製品事業は、現在は研究開発投資が先行している状況ですが、収益としては、細胞医療製品の可能性の評価を行うため、免疫細胞治療に係る先進医療を実施している契約医療機関に対して免疫細胞療法総合支援サービスを提供し、サービス売上を計上しております。以上の結果、売上高は2,206千円、セグメント損失は617,956千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,424,046千円減少し、10,818,239千円となりました。流動資産は7,327,556千円と前連結会計年度末に比べ1,102,350千円減少しており、主な要因は現金及び預金の増加387,297千円、有価証券の減少1,399,803千円です。固定資産は3,490,683千円と前連結会計年度末に比べ321,696千円減少しており、主な要因は投資有価証券の減少1,103,843千円、長期貸付金の増加861,700千円、長期前払費用の減少53,682千円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて495,470千円減少し、1,377,246千円となりました。そのうち流動負債は1,186,661千円で前連結会計年度末に比べて94,572千円減少しております。主な要因は買掛金の減少16,639千円、未払法人税等の減少17,076千円、賞与引当金の減少38,951千円及び資産除去債務の減少32,077千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて400,897千円減少し、190,584千円となりました。主な要因は固定負債その他に含まれる繰延税金負債の減少404,207千円です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失635,931千円、第三者割当増資による資本金及び資本剰余金の増加436,950千円、その他有価証券評価差額金の減少744,742千円等により前連結会計年度末に比べて928,576千円減少し、9,440,993千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.6%から87.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当第3四半期連結累計期間における進捗推移と第4四半期連結会計期間の予測とを踏まえ、平成26年7月31日に平成26年9月期通期の連結業績予想を変更しております。

売上高については、免疫細胞療法総合支援サービスの契約医療機関における細胞加工数が予想を下回る見通しであることから、前回発表(平成25年11月6日)予想に対して470百万円減(20.7%減)の1,800百万円となる見込みです。

利益については、売上高の減少により売上総利益が335百万円減少すること、米国Argos Therapeutics社に対する細胞医療製品「AGS-003」開発に係るライセンス料の支払等により販売費及び一般管理費が130百万円増加することから、営業利益は前回発表予想に対して465百万円減の△1,430百万円となる見込みであり、営業外損益を加えた経常利益は、前回発表予想に対して495百万円減の△1,460百万円となる見込みです。また、特別利益として、投資有価証券売却益440百万円が発生したこと等により、当期純利益は、前回発表予想に対して85百万円減の△1,060百万円となる見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社メドセルを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,081,225	2,468,523
売掛金	361,346	302,917
有価証券	5,599,765	4,199,961
原材料及び貯蔵品	114,124	106,993
その他	273,444	249,160
流動資産合計	8,429,906	7,327,556
固定資産		
有形固定資産	447,088	426,565
無形固定資産	256,710	264,731
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,680	563,836
長期貸付金	630,000	1,491,700
長期前払費用	651,079	597,396
その他	159,820	146,453
投資その他の資産合計	3,108,580	2,799,386
固定資産合計	3,812,379	3,490,683
資産合計	12,242,286	10,818,239
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,586	113,947
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	32,194	15,118
賞与引当金	76,514	37,562
資産除去債務	36,000	3,922
その他	205,938	216,111
流動負債合計	1,281,233	1,186,661
固定負債		
資産除去債務	70,677	68,524
その他	520,804	122,059
固定負債合計	591,482	190,584
負債合計	1,872,716	1,377,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,157,286	6,375,761
資本剰余金	7,569,846	7,788,321
利益剰余金	△4,218,339	△4,854,271
株主資本合計	9,508,793	9,309,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852,076	107,334
その他の包括利益累計額合計	852,076	107,334
新株予約権	8,700	23,847
純資産合計	10,369,570	9,440,993
負債純資産合計	12,242,286	10,818,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,561,689	1,417,735
売上原価	807,858	758,071
売上総利益	753,831	659,663
販売費及び一般管理費	1,413,144	1,667,865
営業損失(△)	△659,312	△1,008,201
営業外収益		
受取利息	15,280	29,305
為替差益	69,989	—
設備賃貸料	2,794	7,711
その他	2,017	2,725
営業外収益合計	90,082	39,741
営業外費用		
支払利息	5,111	5,043
為替差損	—	29,298
投資事業組合運用損	121,833	24,805
その他	35,490	13,634
営業外費用合計	162,435	72,781
経常損失(△)	△731,665	△1,041,241
特別利益		
投資有価証券売却益	618,307	440,145
特別利益合計	618,307	440,145
特別損失		
固定資産除却損	2,549	1,456
減損損失	5,373	572
投資有価証券評価損	—	7,100
出資金評価損	—	19,388
特別損失合計	7,923	28,518
税金等調整前四半期純損失(△)	△121,281	△629,614
法人税、住民税及び事業税	7,075	7,293
法人税等調整額	△6,724	△976
法人税等合計	351	6,317
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△121,633	△635,931
四半期純損失(△)	△121,633	△635,931

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△121,633	△635,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,153,297	△744,742
その他の包括利益合計	1,153,297	△744,742
四半期包括利益	1,031,664	△1,380,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,031,664	△1,380,673
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

当社が平成22年4月に発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債は、新株予約権の行使によりその全てが平成25年1月に株式へ転換されました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本金が500,000千円、資本剰余金が500,000千円増加しております。また、当社が平成25年3月に発行した第4回新株予約権、第5回新株予約権及び第6回新株予約権は、平成25年4月から平成25年5月までにその全ての権利行使がなされました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が2,026,275千円、資本剰余金が2,026,275千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,157,286千円、資本剰余金が7,569,846千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

当社は、平成25年12月26日付で、ドイツ銀行ロンドン支店及び株式会社夢テクノロジーから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が218,475千円、資本剰余金が218,475千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,375,761千円、資本剰余金が7,788,321千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループは、細胞医療支援事業並びにこれらに付帯する業務の単一事業であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,415,528	2,206	1,417,735	—	1,417,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,415,528	2,206	1,417,735	—	1,417,735
セグメント利益又は損失 (△)	37,050	△617,956	△580,906	△427,294	△1,008,201

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△427,294千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、セグメント情報における報告セグメントは「細胞医療支援事業並びにこれらに付帯する業務」の単一セグメントでありましたが、平成25年11月「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が成立した事に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「細胞医療支援事業並びにこれらに付帯する業務」から「細胞加工業」及び「細胞医療製品事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、必要な財務情報を遡って作成する事が実務上困難であるため、開示を行っておりません。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は単一セグメントであることから、前第3四半期連結累計期間の区分方法により作成した当第3四半期連結累計期間のセグメント情報は省略しております。

4. その他

(1) 役員の変動

平成26年7月31日公表の「代表取締役の変動に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) その他

該当事項はありません。